

令和 5 年度 学校評価書 ( 計画段階 実施段階 )

福岡県立京都高等学校(定時制課程)

自己評価				
学校運営計画(4月)				評価 (総合)
学校運営方針	GP(育成を目指す資質・能力) ・自分の考えをわかりやすく相手に伝える力。基礎学力の充実、自発的・主体的に学習を進める力。			
	CP(本校が展開する教育活動) ・一人一人の進路実現に向けて、学習意欲の向上と確かな学力の育成を図る。 ・社会人としての自立の意義を理解させることで進路意識を高め、4年間を通したキャリア教育の充実を図る。			
	AP(本校が求める生徒像) ・真理と正義を重んじ、心身ともに健康で豊かな心と高い志を持ち、社会に寄与できる生徒。			
昨年度の成果と課題	本年度重点目標		具体的目標	
	教科指導で育てたい力：コミュニケーション能力		・自分の考えを分かりやすく伝え、協働して物事に取り組んだり、より良い人間関係構築のための基礎を養う。	
	生徒指導で育てたい力：人間性		・思いやりの心など、生徒の内面の充実を図る。	
	進路指導で育てたい力：協働性		・生徒同士がお互いに協力して課題に取り組むことで、社会人基礎力の育成を図る。	
	安全・健康指導で育てたい力：人間性		・自分で自分の行動を制御する力の育成を図る。	
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題
教科指導	コミュニケーション能力 ・自分の考えを分かりやすく伝え、協働して物事に取り組んだり、より良い人間関係構築のための基礎を養う。	・自分の考え等を分かりやすく伝えようとする態度を養う。		
		・自分の考え等を表現できる力を養う。		
		・ペア活動等の機会を適切に設ける。		
生徒指導	人間性 ・思いやりの心など、生徒の内面の充実を図る。	・約束事・きまり事を守り信頼性を向上させる。		
		・他者への感謝の気持ちを高めさせる。		
		・誰とでも平等に接する姿勢を養う。		
進路指導	協働性 ・生徒同士がお互いに協力して課題に取り組むことで、社会人基礎力の育成を図る。	・生徒の聞く力を向上させる。		
		・クラスの中で生徒に役割を与える。		
		・生徒会活動や部活動の活性化を図る。		
安全・健康指導	自律性 ・自分で自分の行動を制御する力の育成を図る。	・良い生活習慣の定着を図る。		
		・生徒自ら考え行動する機会の充実を図る。		
		・適切な判断力の育成を図る。		

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

- ・情報モラル教育や正しい情報活用能力等を身につけさせ、一人一台端末の効果的な活用を研究・実践する。
- ・教育活動のあらゆる場面で、生徒の規範意識の育成に資する取組を推進する。
- ・生徒一人一人が、卒業後の進路を主体的に選択し、その後の生活において自己実現を図ることができるキャリア教育に取り組む。